

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成21年9月17日(2009.9.17)

【公表番号】特表2009-505129(P2009-505129A)

【公表日】平成21年2月5日(2009.2.5)

【年通号数】公開・登録公報2009-005

【出願番号】特願2008-525683(P2008-525683)

【国際特許分類】

**G 0 2 F 1/133 (2006.01)**

【F I】

G 0 2 F 1/133 5 3 5

G 0 2 F 1/133 5 4 5

G 0 2 F 1/133 5 5 0

【手続補正書】

【提出日】平成21年7月28日(2009.7.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

液晶ディスプレイであって、  
液晶ディスプレイパネルと、  
前記液晶ディスプレイパネルを自然に照明する白色光を生成するセグメント状有機発光ダイオード型バックライトと、  
前記有機発光ダイオード型バックライトのセグメントを駆動するバックライトドライバとを備えている、  
ことを特徴とする液晶ディスプレイ。

【請求項 2】

前記バックライトドライバは、前記液晶ディスプレイパネルのセグメントの光強度を個別化するために前記有機発光ダイオード型バックライトの前記セグメントを個別化方式で駆動する個別化型バックライトドライバを備えている、  
請求項 1 に記載の液晶ディスプレイ。

【請求項 3】

液晶ディスプレイが、表示されるべきビデオ信号に起因する情報に基づいて補正されたコントラストを前記液晶ディスプレイパネルセグメントに付与するように構成されている、  
請求項 2 に記載の液晶ディスプレイ。

【請求項 4】

前記バックライトドライバは、前記液晶ディスプレイパネルのヤケ現象を減少させるために前記有機発光ダイオード型バックライトの前記セグメントを走査方式で駆動する走査型バックライトドライバを備えている、  
請求項 1 に記載の液晶ディスプレイ。

【請求項 5】

前記有機発光ダイオード型バックライトは、前記液晶ディスプレイの一体部分である、  
請求項 1 に記載の液晶ディスプレイ。

【請求項 6】

前記有機発光ダイオード型バックライトは、前記液晶ディスプレイパネルから切り離し可能である、

請求項 1 に記載の液晶ディスプレイ。

【請求項 7】

請求項 1 ないし 6 のいずれか 1 項に記載のセグメント状有機発光ダイオード型バックライト。

【請求項 8】

請求項 1 ないし 6 のいずれか 1 項に記載の液晶ディスプレイを備えている装置。

【請求項 9】

液晶ディスプレイパネルを備えている液晶ディスプレイを作動させる方法であって、白色光を生成するセグメント状有機発光ダイオード型バックライトで前記液晶ディスプレイパネルを自然に照射するステップと、

前記有機発光ダイオード型バックライトの前記セグメントを駆動するステップとを備えている、

ことを特徴とする方法。

【請求項 10】

液晶ディスプレイパネルセグメントの光強度を個別化し表示されるべきビデオ信号に起因する情報に基づく補正されたコントラストを液晶ディスプレイパネルに付与する個別化された方法で、前記有機発光ダイオード型バックライトのセグメントを駆動するステップを更に備えている、

請求項 9 に記載の方法。